

水 域 名	基 準 点 名	類 型	人 為 汚 濁 負 荷 量				自然汚濁 負 荷 量
			生活系	工 場 ・ 事 業 場 系	畜産系	計	
石巻地先海域(丙)	十条沖(J-3)	A	0	0	0	0	0
松 島 湾(甲)	港 橋	C	308	2,677	0	2,985	7
			216	2,099	0	2,315	
" (乙)	西 浜	B	0	0	0	0	0
" (丙)	桂 島	A	0	0	0	0	0
仙台港地先海域(甲)	内 港 - 4 内	C	0	320	0	320	0
" (乙)	外 港 - 1	B	0	0	0	0	0
" (丙)	外 港 - 2	A	0	0	0	0	0
" (乙)	蒲 生 - 3	B	0	11,200	0	11,200	0
			0	15,204	0	15,204	
" (丙)	蒲 生 - 4	A	0	0	0	0	0
二ノ倉地先海域(甲)	二ノ倉前-1	C	0	42,000	0	42,000	0
			0	49,860	0	49,860	
" (乙)	" 2	B	0	0	0	0	0
" (丙)	" 3	A	0	0	0	0	0

注 1. 河川は、BOD汚濁負荷量、海域は、COD汚濁負荷量である。

2. $\frac{\text{上段}}{\text{下段}} = \frac{\text{単純将来予測値}}{\text{計画将来予測値}}$

3. 本表における汚濁負荷量は、本計画における将来予測のために算定したものであり、算定上の原単位などについては資料編参照のこと。

第3節 環 境 容 量

1. 環境保全水準の設定

水質に係る環境保全水準は、人の健康を保護し及び生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準として定められている「水質汚濁に係る環境基準」を基礎として設定するものであるが、本計画における水質の環境管理対象項目は、河川については生物化学的酸素要求量、湖沼・海域については化学的酸素要求量としていることから、当該対象項目について設定

する。

すなわち、河川の水質は、生活環境保全型ごとに定められている環境基準に、河川に係る環境保全水準は、環境基準に準拠する。

河川に係る環境保全水準

類 型	環境保全水準
AA	1 ppm以下
A	2 "
B	3 "
C	5 "
D	8 "
E	10 "

2. 環境容量の設定

水質に係る環境容量は、環境基準に準拠する許容限度量としての汚濁負荷量を、環境容量を設定するに足る資料として環境容量とする。

ただし、流域別下水道整備計画の進捗状況とが望ましいところから、低水流量と、低水流量時の環境管理のための容量と